

きゅうしょくだより

きゅうしょくしゅうかんごう 給食週間号

おおさか しりつ いくたま しょうがっこう
大阪市立 生魂 小学校

がつにじゅうよつか ど にち きん
1月 2 4日(土)から30日(金)は

せんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 「全国学校給食週間」

◆学校給食の歴史

1889(明治22)年に山形県の私立忠愛小学校で、弁当を持ってくることができない子どもにたちに昼ご飯を用意したことが、日本の学校給食の始まりとされています。戦争で食べ物が少くなり、中断されたこともあります。が、戦争が終った後、子どもたちが栄養をしっかりとれるように、全国で給食が広まりました。

ごはん・パン

1950年 毎日パン給食だった。



1981年 月1回、ご飯給食が始まる。



2001年 週2回、ご飯給食になる。



2003年 週3回、ご飯給食になる。



おおさか しりつ きゅうしょく 大阪市の給食 ご飯・パン・牛乳の歴史

1950年 学校で、脱脂粉乳(牛乳の脂肪分を取りのぞいて粉状にしたものの)を湯に溶かして作っていた。

1972年 びんに入った牛乳になる。

2018年 びんから紙パックに入った牛乳になる。

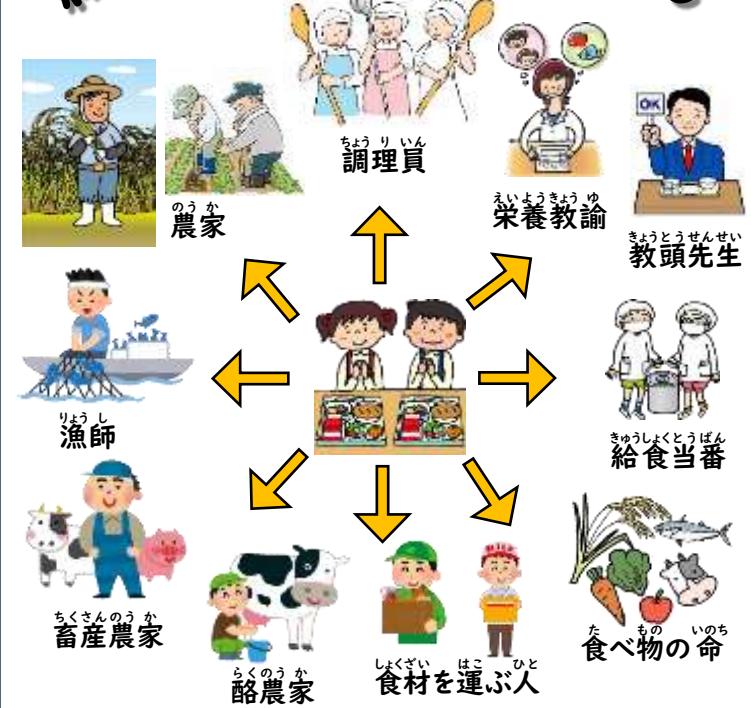


◆学校給食の役割

給食が始まったころは、「栄養をとる」ことが1番の目的でしたが、今では食べ物や食べることについて、さまざまなことを学ぶ「食育」という目的もあります。これを機会に、給食の大切さについて考えてみましょう。

学校給食の歴史
や、役割を知る1週間です。

きゅうしょく ささ 給食を支えているみなさん



給食ができるって食べられるようになるまでには、たくさんの人たちが関わっています。そして、私たちは食べ物の命をいただき、生きてています。感謝の気持ちを忘れずに、できるだけ残さずいただきたいですね。